

3 - 2 関東甲信越地方における地震活動 (1994年5月～7月)

Seismic Activities in the Kanto-Koshinetu District (May-July, 1994)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

第1図に各月の震央分布，第2図に深さ別の震央分布，第3図にM4以上の地震の震央分布と主な地震のメカニズム解を示す。この期間の主な地震は

信越地域 (関東甲信越地方の地震活動，1994年8月～10月，第6図参照)

1) 能登半島沖

1993年2月7日(M6.2)の余震活動が続いている。この期間の地震数は5月，17個，6月，39個，7月，23個観測されている。深さは4～50km位でマグニチュードは2クラスが多い。最大の地震は6/7，10h52m， $h = 7$ km，M4.9が観測された。

2) 長野県西部

1993年4月頃より活動が活発となっている。この期間に求まった地震は403個，深さは5～10km位，従来の活動域の北側にも活動がみられる。M4以上は5/7，16h41m， $h = 4.0$ km，M4.0(北側)，5/22，17h53m， $h = 4.1$ km M4.5が観測された。

3) 飛騨山脈

三俣蓮華岳，鳥帽子岳付近に微小な活動がみられる。深さ0～5km位。最大のマグニチュードはそれぞれM2.7，M3.4，地震数16個，11個が観測された。

4) 松代付近

5月から7月にかけて小活動があった。この期間に観測された地震は36個でマグニチュードは1クラスが多く，深さは2km位が多い。最大のマグニチュードはM3.7で松代，長野で有感地震となった。5/6，17h24m， $h = 2.2$ km，M3.7，メカニズムは北西～南東のp軸を持つ横ずれ型である。この付近では伸縮計の南北の伸びが観測されており今後の活動が注目される。

伊豆，東海地域 (伊豆半島付近の地震活動，1994年5月～7月，参照)

1) 伊豆大島北部沖

5月1日に41個，5月11日に7個の微小な地震があった。マグニチュードは1.5～2.8で深さは0～5kmである。5/1，14h41m，M2。

2) 伊豆大島

伊豆大島の南東の内陸部から沖合いにかけて東西方向の微小な活動があった。深さは極浅くマグニチュードは1～2クラスで地震数100個程度が観測された。7/23，09h49m，M2.5は大島で有感地震となった。

3) 新島，神津島周辺

この地域でも全期間を通じて活発な地震活動があった。銭洲海嶺に沿った南西～北東の活動、新島の中央部を北西～南東に横切る活動が観測された。神子元海丘の活動がみられる。6 / 14, 05h55m, h = 11 km, M4.8

4) 静岡県中部

1993年8月以来の活動が小規模ながら続いている。6 / 11, 07h21m, h = 24 km, M3.9の地震があり静岡で震度2であった。深さは10 km以浅である。

北関東，房総沖の地震活動

1) 日光（関東甲信越の地震活動，1994年8～10月，第5図参照）

この期間の日光の地震は5月に277個，6月に246個，7月に131個観測された。マグニチュード1～2の微小な活動が続いている。最大は7 / 29, 05h24m, M2.9で日光で震度2であった。深さは10 km以浅である。

2) 茨城県南西部

この期間のM4以上の活動は以下の通りである。

5 / 13, 20h18m, h = 69 km, M4.9

5 / 31, 04h20m, h = 53 km, M4.8 メカニズムは北西～南西のp軸を持つ逆断層型。

6 / 19, 08h12m, h = 51 km, M4.6 メカニズムは北西～南西のp軸を持つ逆断層型。

7 / 09, 12h27m, h = 41 km, M4.0

7 / 10, 11h42m, h = 69 km, M4.3

3) 千葉県北部，千葉県中部

M 4.0の地震が3個観測された。

5 / 16, 04h45m, h = 83 km, M4.3

7 / 13, 00h51m, h = 78 km, M4.4

7 / 20, 10h58m, h = 30 km, M4.6

4) 房総半島

房総半島先端で6月29日にM5.5の地震があり東京で震度3を記録した。

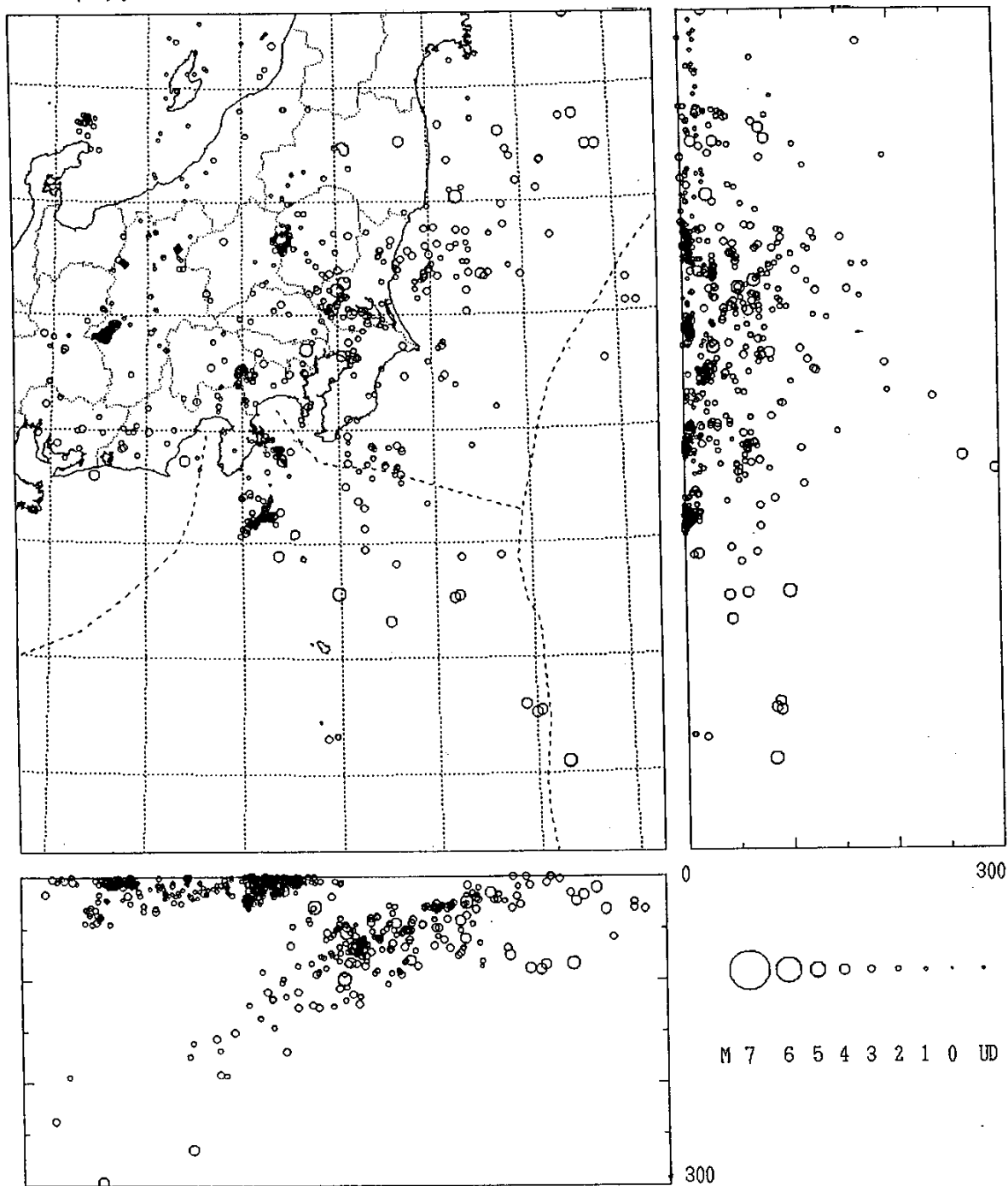
6 / 29, 11h01m, h = 53 km, M5.5 メカニズムは北西～南西のp軸を持つ横ずれ型である。

5) 東京都東部

5 / 27, 23h53m, h = 29 km, M4.9の地震があり東京で震度3となった。メカニズムは南北p軸の逆断層でフィリピン海プレート上面の活動と思われる。

1994年5月

N=1085

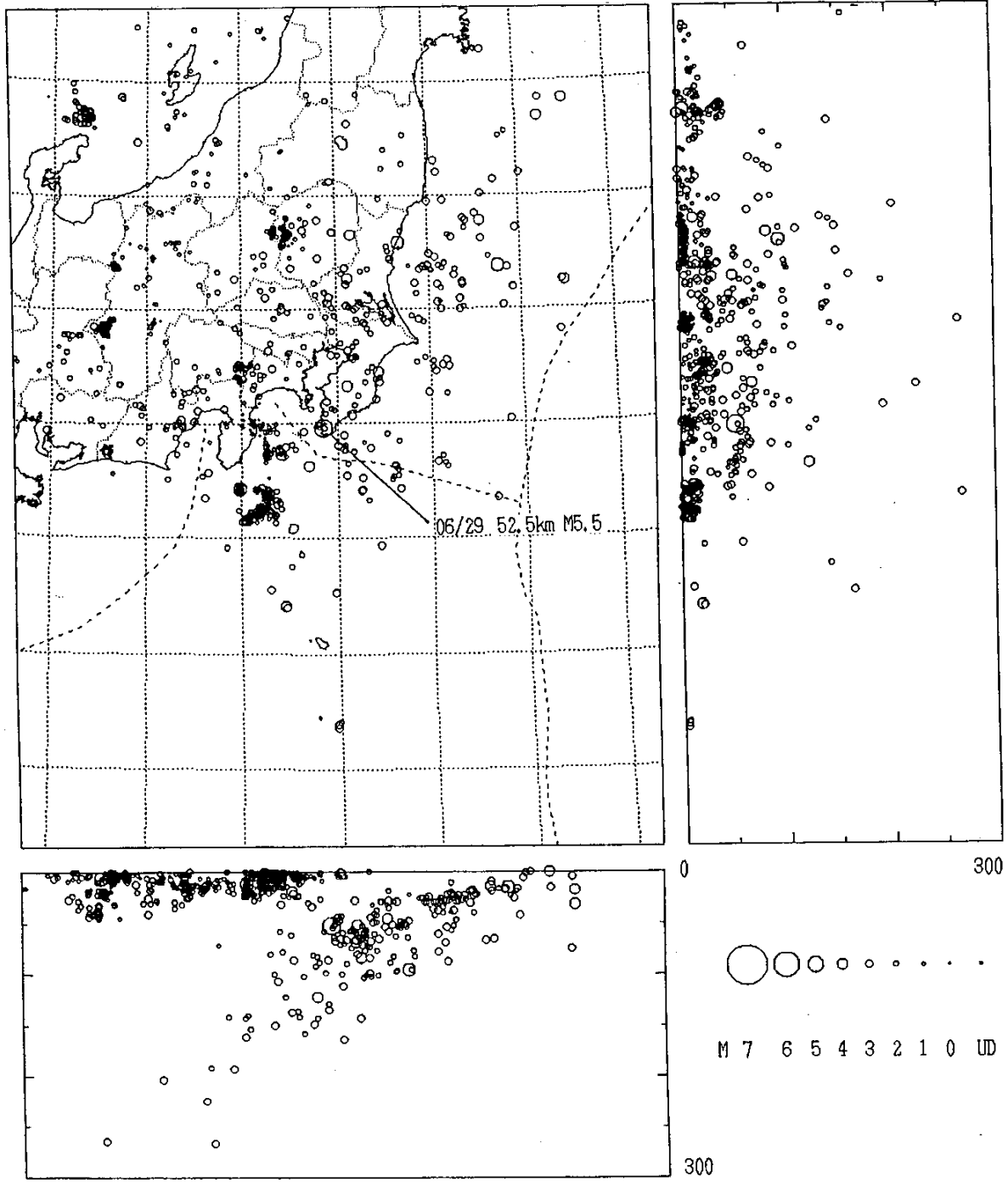


第1図 関東甲信越地方における震央分布 (1994年5月~1994年7月)

Fig.1 Epicentral Distribution of the Kanto-Koshinetsu District (May, 1994-July, 1994)

1994年6月

N=1192

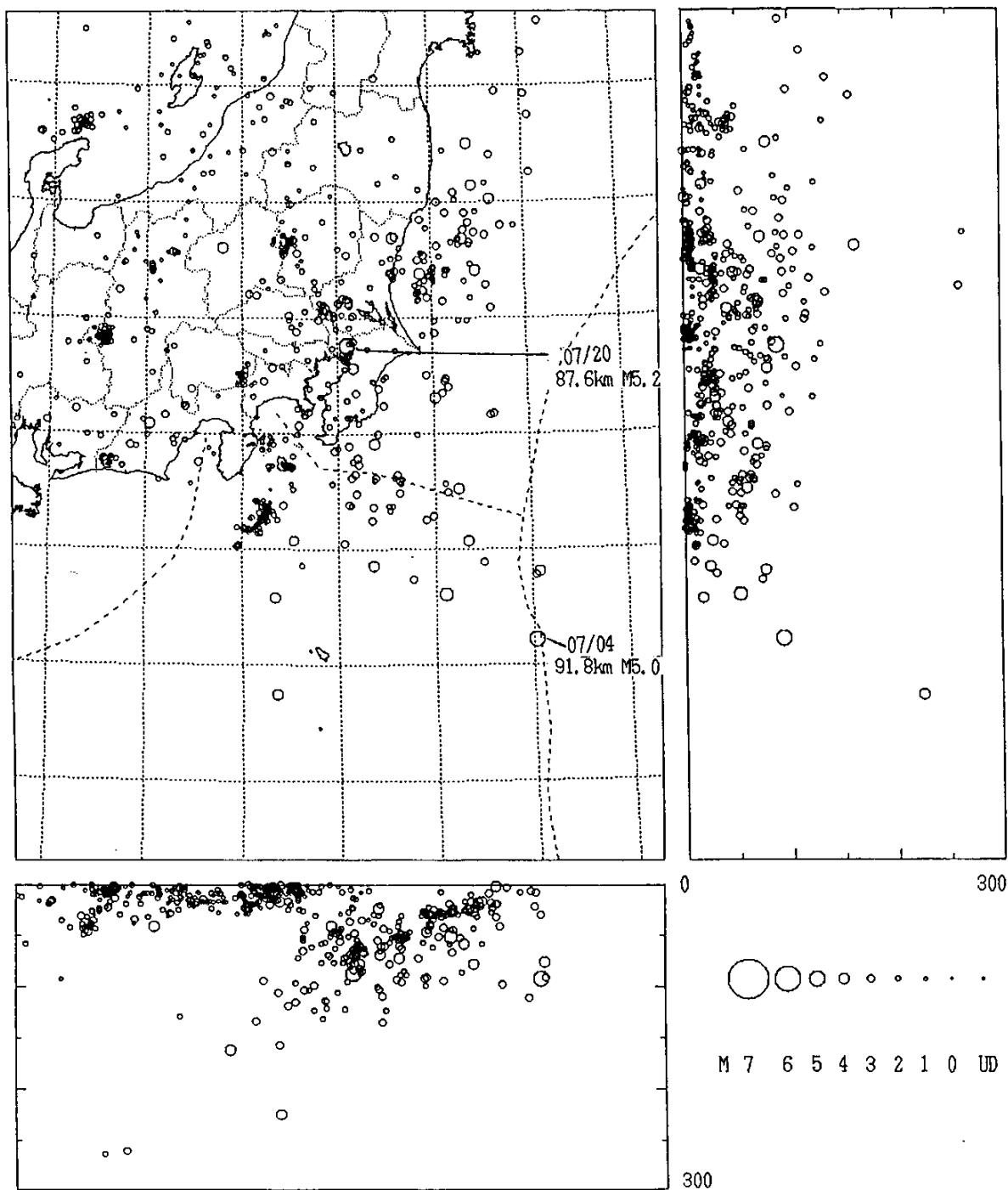


第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

1994年7月

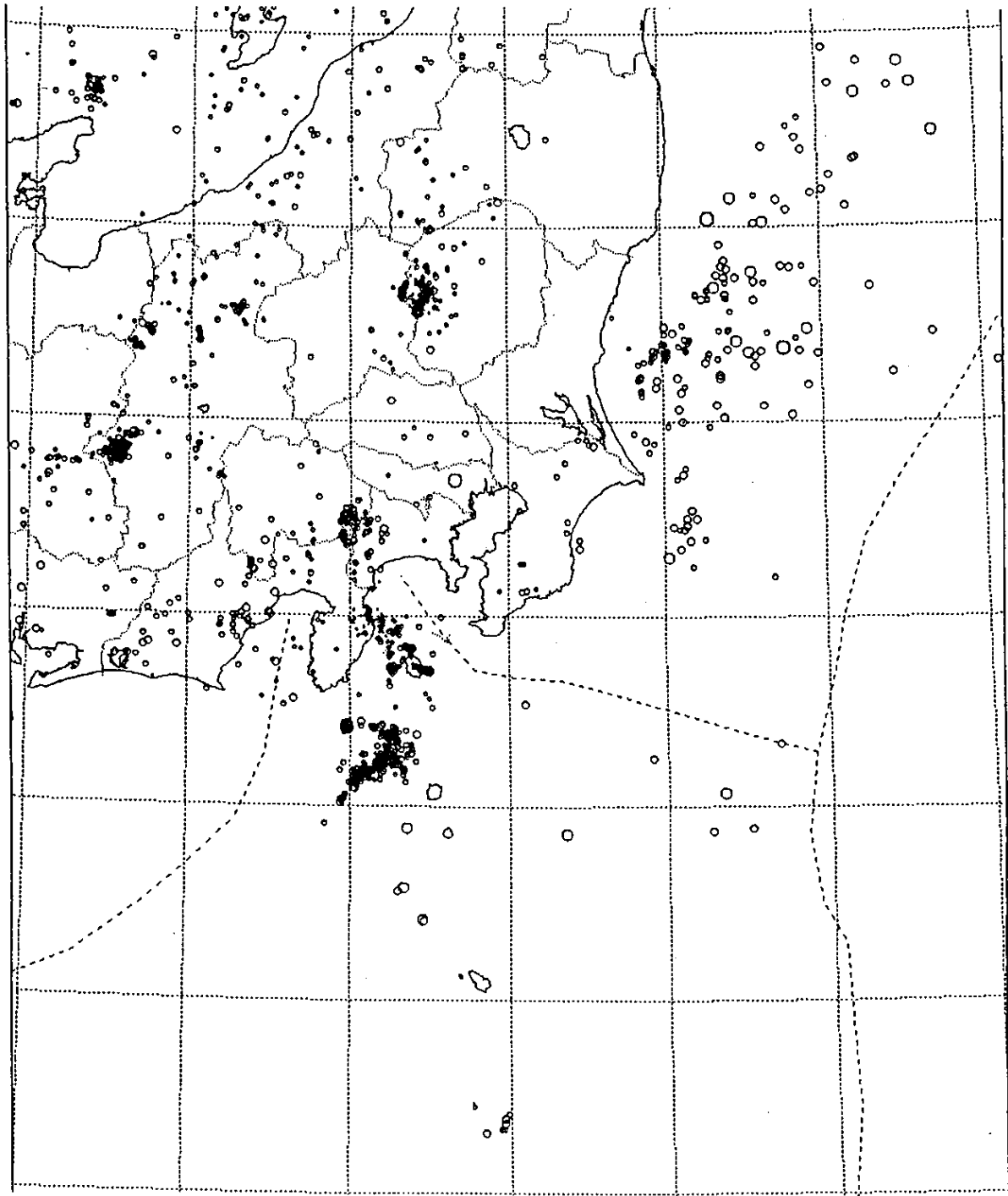
N=877



第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)

1994年5月-1994年7月

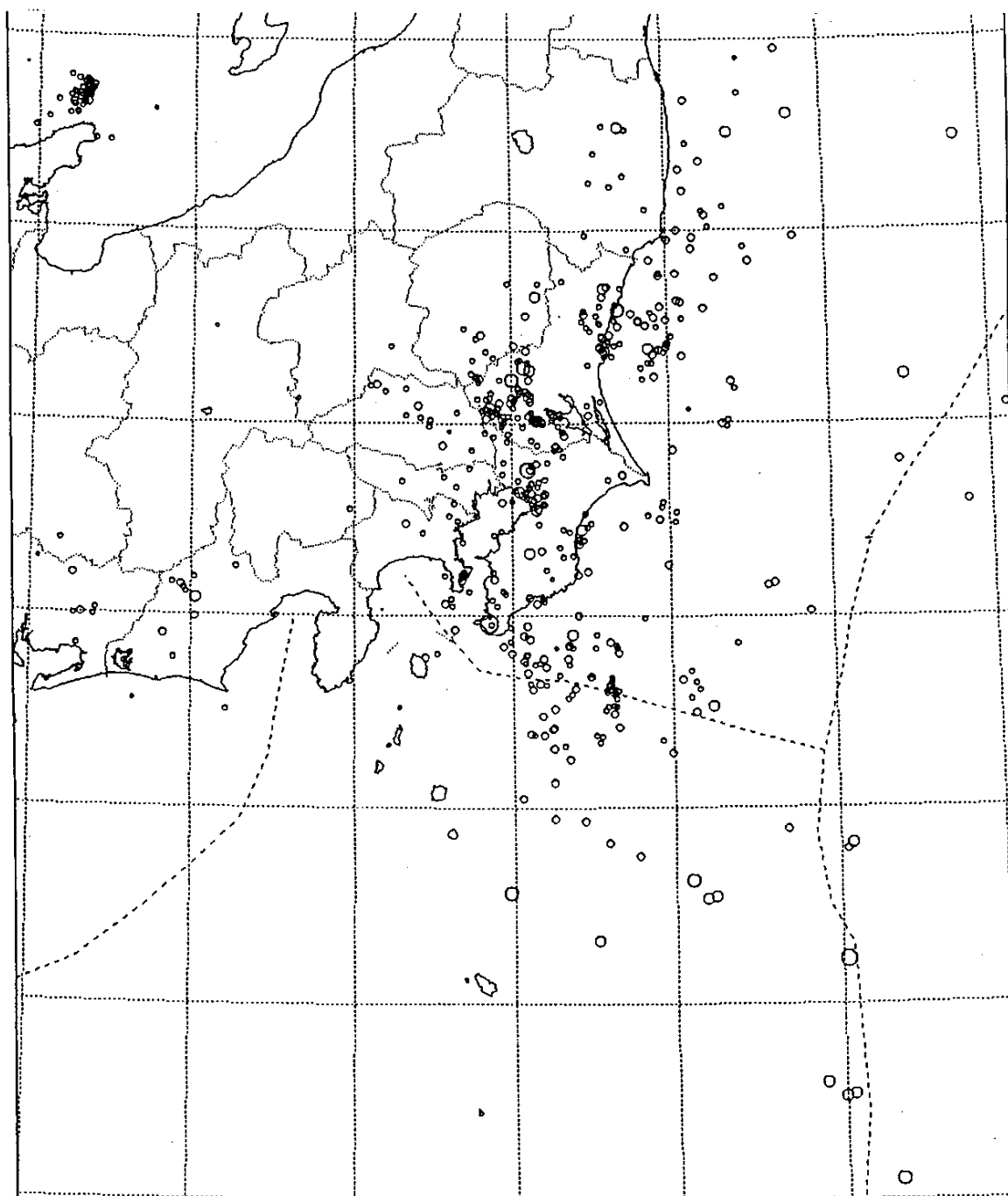


($H \leq 30$ km)

第2図 深さ別の震央分布 (1994年5月~1994年7月)

Fig.2 Epicentral Distribution in each range of depth.

1994年5月-1994年7月

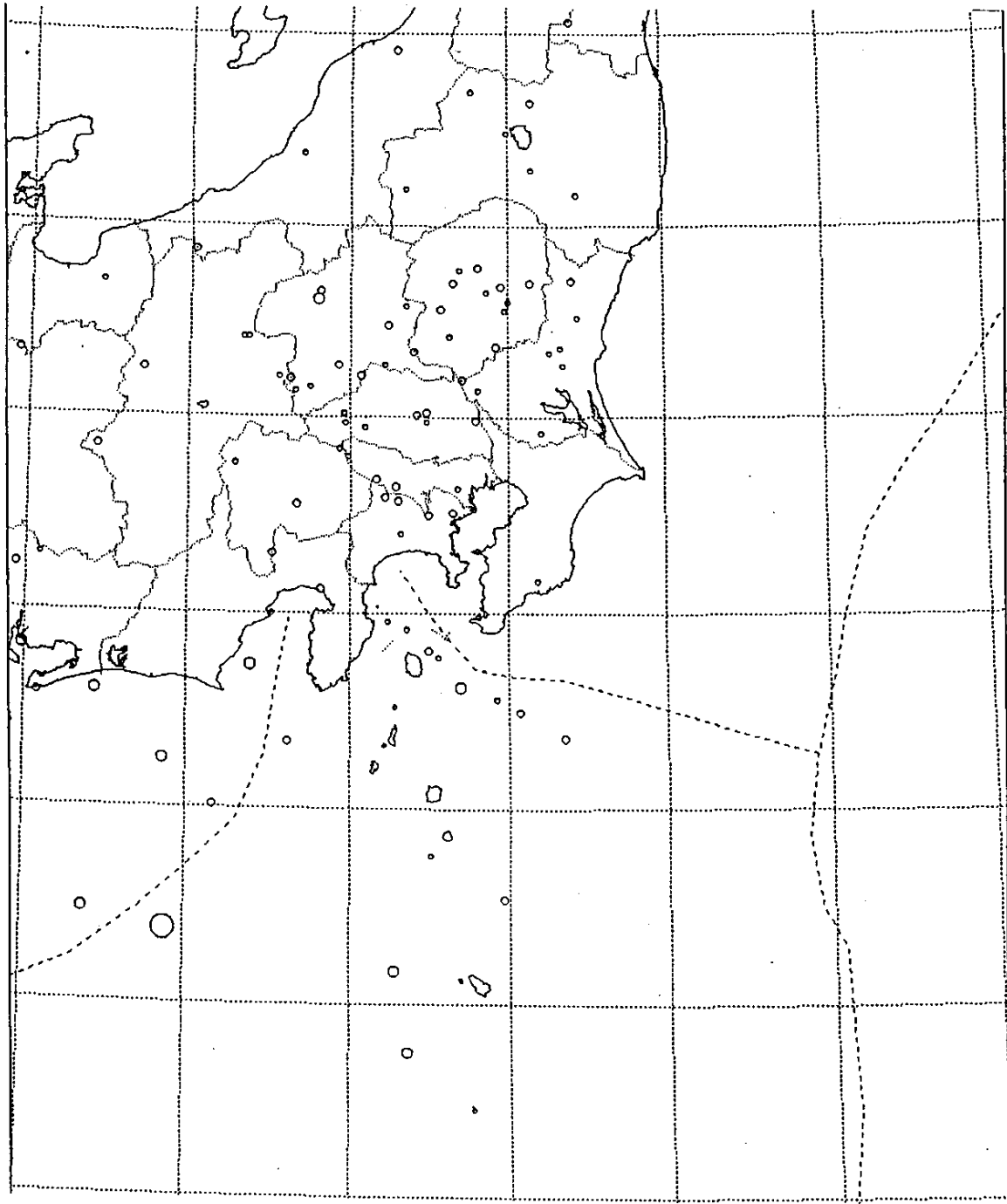


($30 < H \leq 100\text{km}$)

第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)

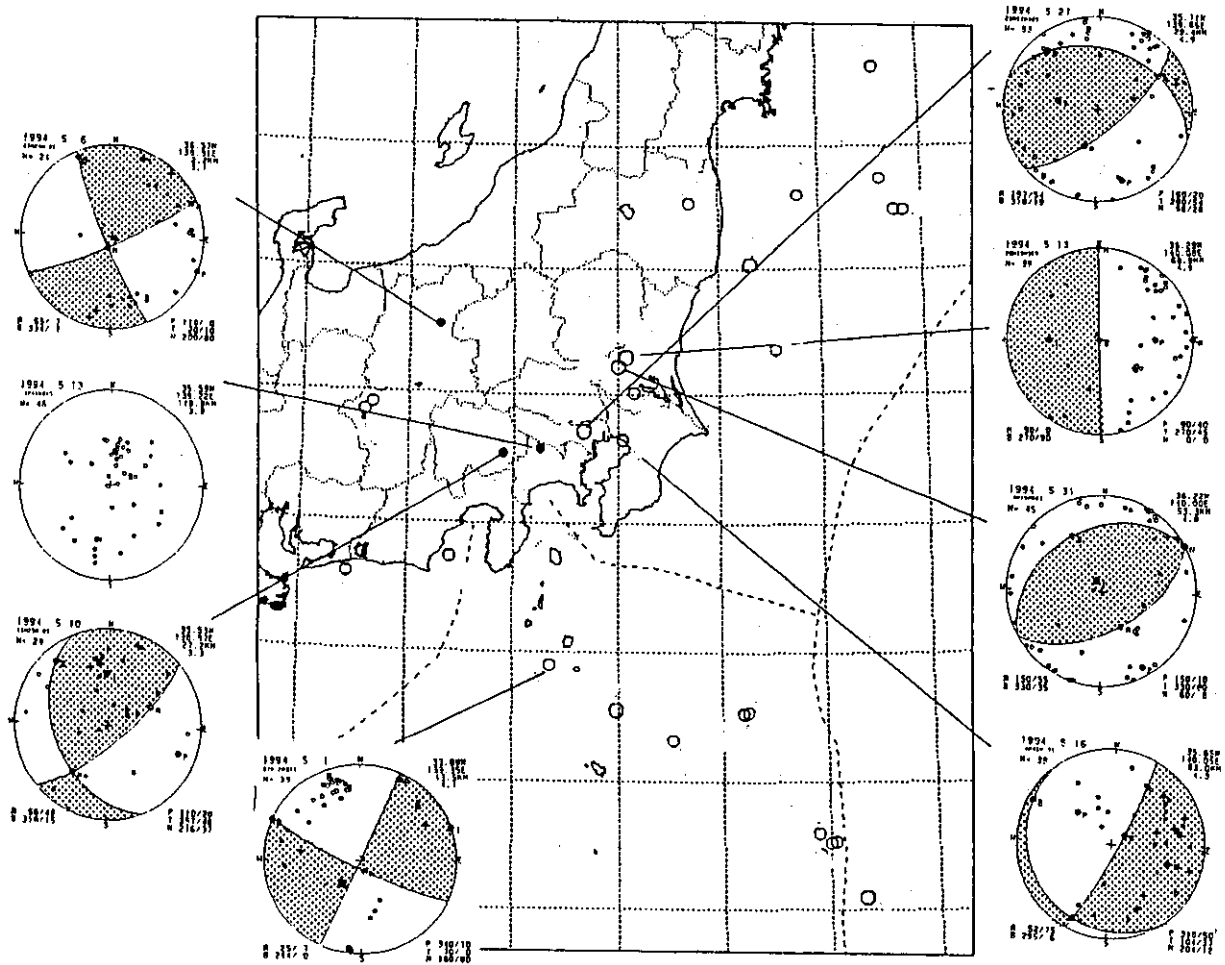
1994年5月-1994年7月



(100km < H ≤)

第2図 つづき
Fig. 2 (Continued)

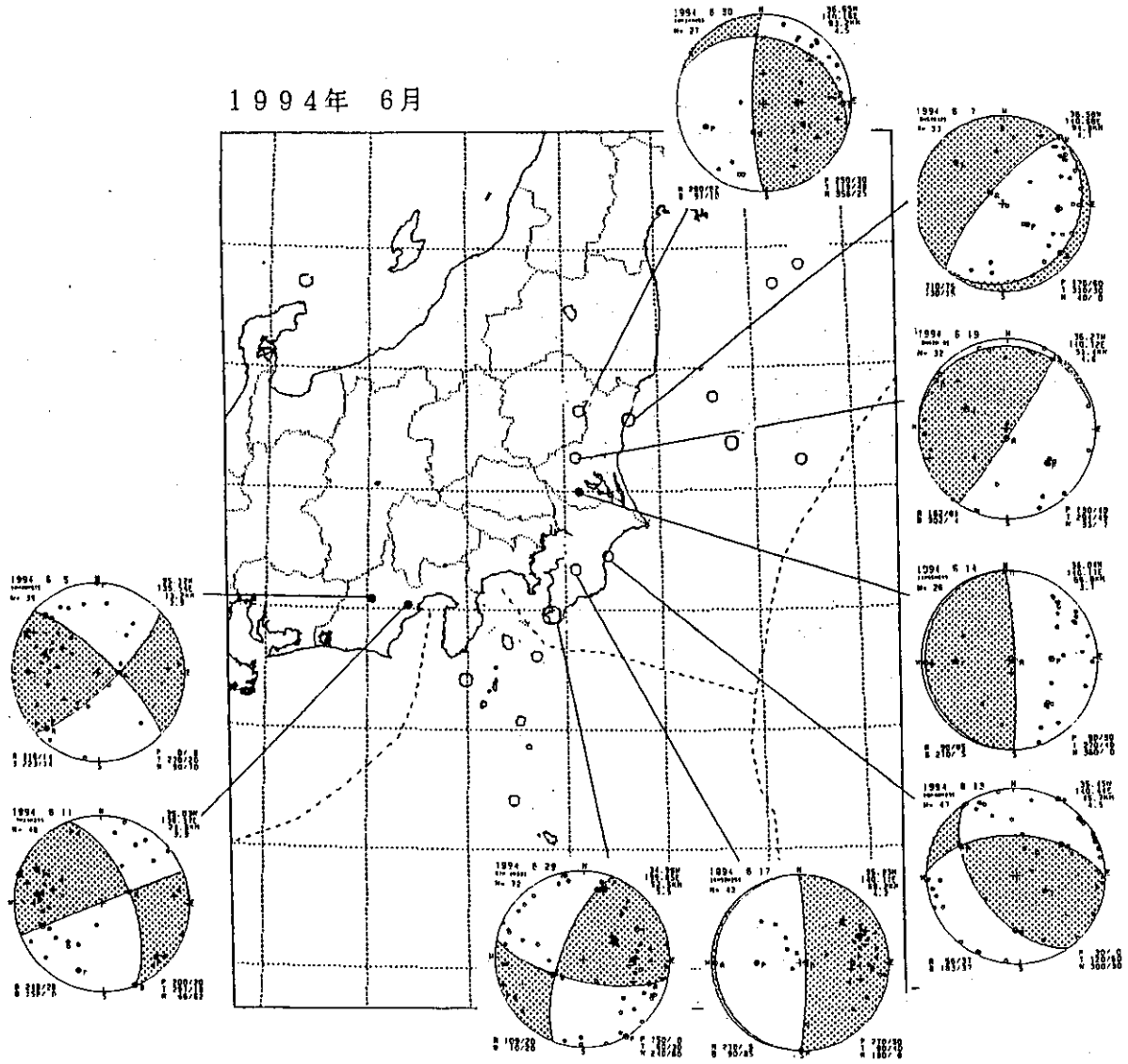
1994年 5月



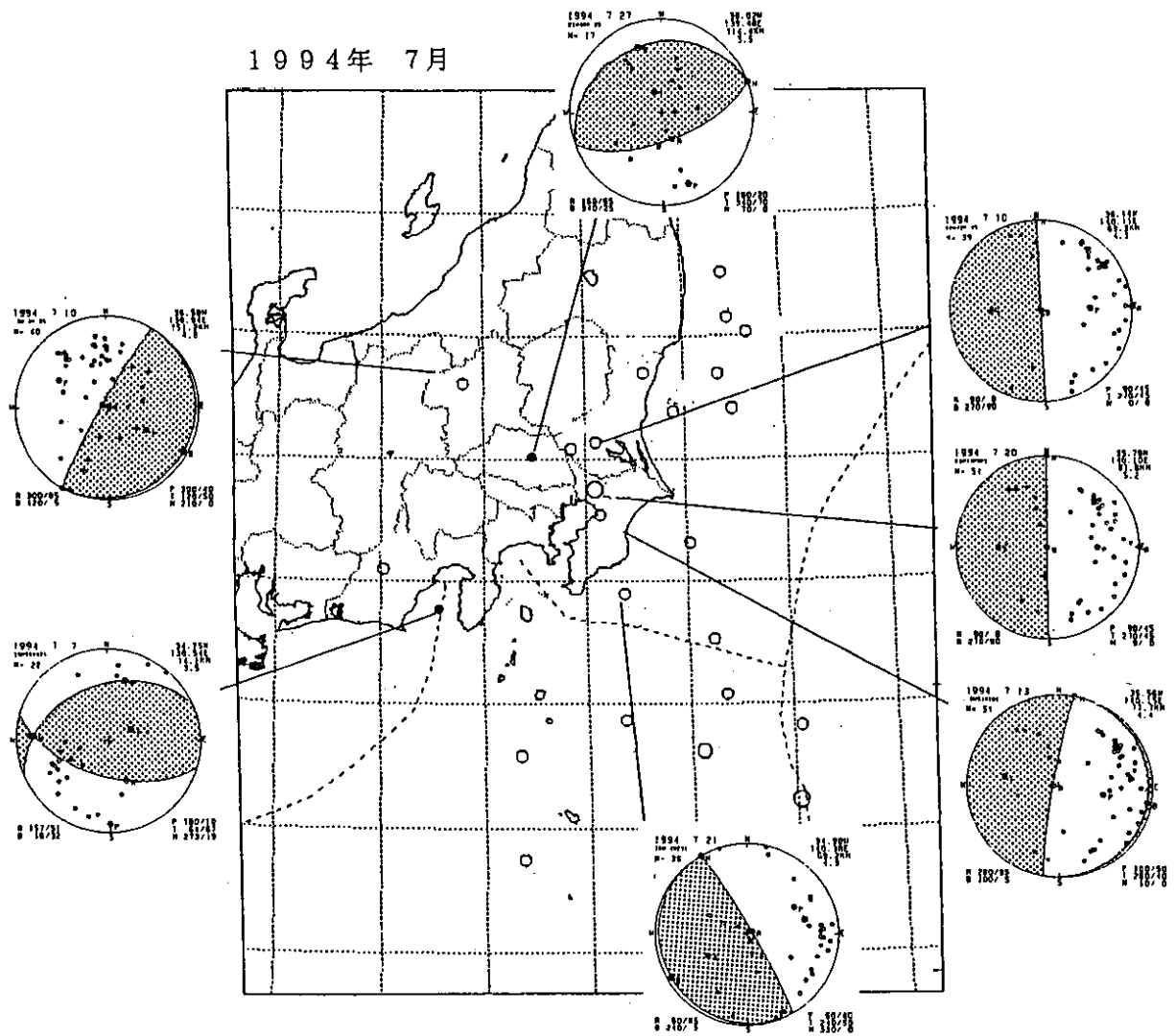
第3図 主な地震のメカニズム解(下半球投影)

Fig.3 Focal Mechanism Solution of Major Earthquakes.

1994年 6月



第3図 つづき
Fig. 3 (Continued)



第3図 つづき

Fig. 3 (Continued)